

「さし茶手揉保存会」が  
第26回全国手もみ製茶技術  
競技大会で全国3位に入賞



茶の手もみ製法を継承する方々がその技術を競う「全国手もみ製茶技術競技大会」が、11月10日静岡県藤枝市で開催されました。坂東市からは、野仲孝明さん、野村和徳さんが選手として、また根本宏紀さんがサポートメンバーとして参戦しました。全国から26チームが参加し、見事3位の優良賞を受賞しました。

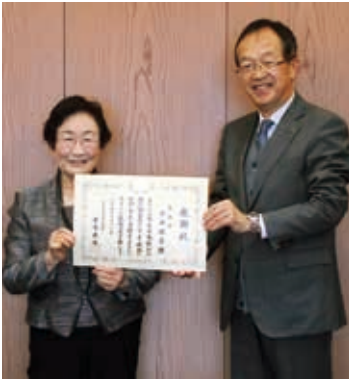
手もみ茶は、機械を使わずに人の手だけで作り上げるお茶です。約6〜7時間かけて揉み上げられたその仕上がりは、針のように細長く、艶があり、まさに究極の職人技が作り出す芸術品と言えます。

厚生労働省政策  
統括官表彰 受賞

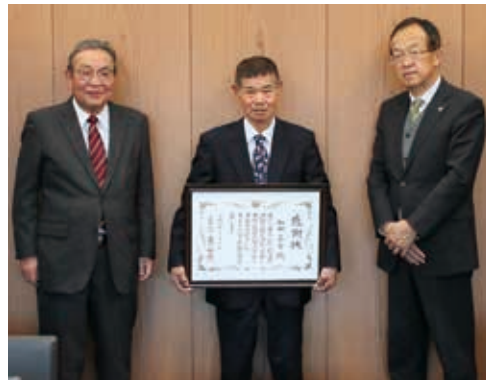
石井昭子さん（半谷）が、「厚生労働省政策統括官表彰」を受賞されました。

石井さんは、市の登録調査員として長年さまざまな統計調査にご尽力いただいています。その中でも、保健・医療・福祉・年金・所得等国民生活の基礎的な事項について、世帯面から明らかにすることを目的として毎年実施している国民生活基礎調査など厚生労働省所管の調査に、平成19年から3回以上に亘り従事されたことに対し、厚生労働省政策統括官より表彰されたものです。

おめでとうございます。



茨城県知事から  
感謝状贈呈



12月6日、水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館で行われた「茨城県遺族連合会創立75周年記念大会」において、和田喜市さん（逆井）が茨城県知事から感謝状が贈られました。

和田さんは、平成15年から旧猿島町の遺族会会長・理事を務めたほか、現在は、市戦没者遺族会の副会長として、通算19年にわたり戦没者遺族等の援護活動および遺族会の発展に尽力され、その功績が認められたものです。

おめでとうございます。

ゼロカーボンシティに向けた協定の締結  
ウォータースタンド株式会社と  
「プラスチックごみ削減の推進に関する協定」を締結

12月14日、ウォータースタンド株式会社（さいたま市）と「プラスチックごみ削減の推進に関する協定」を締結しました。



ゼロカーボンシティに向けた取り組みの一環として、この協定に基づき庁舎1階新型コロナウイルス対策室入口付近に常温のウォーターサーバーを設置しました。どなたでも無料で、水道水をミネラルウォーターと同様なおいしい水として飲むことができます。環境に配慮した設備のため、紙コップ等は置かずマイボトルへの給水で、電力を使わないため常温となりません。水の使用量から、ペットボトル生産時と廃棄時に発生するCO<sub>2</sub>をどれくらい削減できたかを計算することができます。



「カードを預かる」「暗証番号を教える」などと言われたら、それは詐欺です